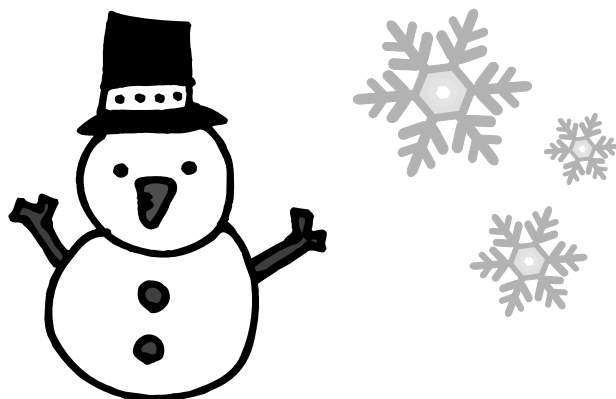




関西支部 NEWS



目次

- 第1回高度技術講習会（ウサギ・モルモット）の開催案内
第4回微生物検査実技講習会の開催案内
平成19年度支部総会ならびに三支部（東海・北陸・関西）交流会開催のご案内
平成19年度日本実験動物技術者協会「関西支部秋季岡山大会」を終えて
 [大会長] 古本 佳代 倉敷芸術科学大学 生命科学部
秋季岡山大会を終えて
 [関西支部支部長] 池淵 一也
第62回実験動物学習会を受講して
 佐藤 美帆 高知大学総合研究センター動物資源開発分野（動物実験施設）
第62回実験動物学習会を受講して
 斉藤 大地 オリエンタル酵母工業株式会社
第62回実験動物学習会を終えて
 清水 何一
HP だより
幹事会だより
事務局だより

第1回高度技術講習会（ウサギ・モルモット）の開催案内

関西支部では実験動物技術者の知識、技術の向上に寄与することを目的に二級技術者レベルの学習会(座学および実技)を例年開催しております。一方で、会員の皆様からはスキルアップのためより高度な実技講習会の開催を望む声も多くあり検討を進めて参りました。

今回、北山ラベス株式会社(KBL)および日本エスエルシー株式会社(SLC)のご協力を得て、ウサギ・モルモットの高度技術講習会（一級技術者レベル）を開催することとなりましたのでご案内いたします。

本講習会は、関西支部のスタッフ以外にもウサギ、モルモットのスペシャリストを講師として招き開催します。一級技術者受験を検討している方々にも満足いただける内容の講習会だと考えております。是非ご参加を検討下さい。

記

開催日時：平成20年1月26日(土)午後～平成20年1月27日(日)終日

1月26日午後：座学

1月27日終日：実技講習

開催場所：神戸市内で開催予定です。

現在調整中です。後日、参加申込者に詳細をお知らせしますので、申込時に住所、メールアドレス、FAX番号等の連絡先を忘れないようご記入下さい。

募集人員：ウサギ、モルモット各数名程度

受講料：会員 20,000 円、非会員 30,000 円

昼食：27日の昼食(弁当)費は受講料に含まれています。

申込方法：E-mail または FAX で、関西支部事務局までお申込下さい。

「高度技術講習会参加希望」と明記し、選択動物種、住所（自宅 or 勤務先かを明記）所属、氏名（ふりがな）、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス、会員・非会員を記入下さい。

締切日：平成20年1月11日(金)とします。但し、先着順にて募集人員を超過した場合は、申込みを受理できない場合がございます。御了承下さい。

支払方法：申込みを受理させて頂いた場合は、その旨事務局より御連絡いたします。受理の連絡を受けた後、平成20年1月18日(金)までに下記口座に郵便振込にてご入金下さい。なお、申込み受付後、参加者の都合により受講をキャンセルした場合でも受講料を請求させていただきます。教材準備等に経費支出しておりますので御了承下さい。

加入者名 「日本実験動物技術者協会関西支部」

口座番号 01660 - 1 - 8947

申込先(支部事務局):

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1 - 1

(株)JT クリエイティブサービス高槻事業所内

担当：千葉 薫、榊原 和佳子

TEL. 072-681-9719 FAX. 072-681-9724

支部携帯：090-1570-2725 (支部長所持)

事務局E-mail ; kansaimail@jaeat-kansai.org

その他：講習会修了者には関西支部より修了証書が授与されます。

第4回微生物検査実技講習会の開催案内（第3報）

第4回微生物検査実技講習会を下記のプログラムで実施します。今年度は、新たに、元感染研に所属されていた方を講師に招き、微生物を扱う際に知っておくべき法律や、バイオセーフティに関する基礎知識と技術等の講習を追加しました。受講を希望される方は下記の申込方法に従って、事前登録を行って下さるようお願い致します。

記

開催日時：平成20年2月2日(土)～3日(日)の2日間

開催場所：会場については、現在大阪府内の大学で最終調整中です。

詳細は参加申込者に対して後日、郵便やFAX、E-mail等でお知らせしますので、住所、FAX、E-mail等の連絡先を申込時に忘れないようお願い致します。

参加費：会員 20,000円、非会員 30,000円

参加希望の方は、申込前に参加費を下記の口座に郵便振込にてご入金下さい

加入者名 「日本実験動物技術者協会関西支部」

口座番号 01660-1-8947

昼食：**昼食代は自弁でお願いします。**

申込方法：

申込締切日：参加費納入後、「微生物講習会参加希望」と明記し、次の下記の記入要領に従って必要項目を記入し、平成20年1月11日(金)までに、E-mailまたはFAXで、関西支部事務局までお申込下さい。

締切日以降の申込は準備の都合上お受けできませんので、ご了承下さい。

記入要領：住所(自宅or勤務先かを明記)所属、氏名、よみがな、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、会員・非会員

申込先(支部事務局)：

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1

(株)JTクリエイティブサービス高槻事業所内

担当：千葉 薫、榊原 和佳子

TEL. 072-681-9719 FAX. 072-681-9724

支部携帯：090-1570-2725 (支部長所持)

事務局E-mail ; kansaimail@jaeat-kansai.org

その他：講習会修了者には関西支部より修了証書が授与されます。

プログラム

2008年2月2日(土)

9:00～ 受付開始

講師：(財)実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター(現在調整中)

9:30～11:00 講義 感染症診断法と実験動物の主要感染症
モニタリング検査のための採材法

11:00～12:00 実技 検査材料採取法(マウス)

12:00～13:00 昼休み

13:00～14:30 デモ、実技 検査材料採取法(ウサギ)

14:30～14:45 休憩

14:45～16:15 デモ 感染マウス・ラット解剖所見

実技 ティザー菌感染肝のギムザ染色標本作成と鏡検

16:15～17:00 主要細菌の培地上コロニーの特徴供覧

2月3日(日)

9:00 ~ 10:00 実技 肺パスツレラの同定法(市販同定キットへの菌接種)
10:00 ~ 11:30 講義 実技 血清反応(モニライザへの血清分注)
11:30 ~ 12:00 実技 洗浄、酵素標識物の滴下
12:00 ~ 13:00 昼休み
13:00 ~ 14:00 実技 洗浄、基質発色液の滴下、判定
14:00 ~ 14:30 肺パスツレラの同定法(キットの判定)
14:30 ~ 15:00 質疑応答

講師: バイオメディカルサイエンス研究会(現在調整中)

15:00 ~ 16:50 バイオセーフティ概論の講義と質疑応答
16:50 ~ 修了証書授与・閉会挨拶

*なお、プログラムについては当日、変更が生じるかも知れません。含み置き下さい。

当日持参 : ・マウスの解剖に用いるためのハサミ、ピンセット各一組
・血清を希釈するとき使用するマイクロピペット(200 ul、1本)とチップ(50本)
・作業衣(白衣)
・抗体検査用血清 数検体以下(希望者のみ)

*カメラで写真を撮りたい方は持ち込み可能です。但し、教材等事前に撮影を許可したものに限りです。許可無しの撮影行為を発見した場合は、撮影データの消去と共に講習会終了までカメラをお預かりさせていただきます。

*帽子、マスク、手袋は主催者が準備します。

平成 19 年度支部総会ならびに 三支部(東海・北陸・関西)交流会開催のご案内 (第一報)

平成 19 年度関西支部総会を下記の日程にて開催致します。今年度は少し趣向を変え、例年支部総会開催日に行っております研究発表会に代えて東海・北陸・関西の三支部交流会を企画しました。内容の詳細は現在調整中ですが、例年通り一般演題の発表他、特別講演等も予定しております。他支部会員の方々とも交流できるよい機会ですので、お忙しい時節ですが、万障繰り合わせの上、多数のご出席をお願い申し上げます。なお、プログラム等の詳細については、支部 HP に掲示すると共に次号支部ニュース(2月下旬発行)にてご案内致しますので御確認下さい。

会場へは例年通りカジュアルな服装(ノーネクタイ)でのご参加をお願い致します。

-記-

開催日時: 平成 20 年 3 月下旬の土曜日

開催場所: 京都あるいは大阪での開催を予定しています。

講演予定: 例年通り、特別講演、シンポジウム等を企画しております。現在、講師、講演内容等につきましては調整中です。

参加費: 事前 会員 1,000 円 非会員 2,000 円
当日 会員 2,000 円 非会員 3,000 円

(学生 1,000 円引き。学生の事前登録は無料。但し、当日受付にて学生証の提示が可能な方に限ります。)

懇親会：参加費 事前 5,000 円 当日 6,000 円
(学生 2,000 円引き)

『研究発表会の演題募集』

会員の皆様から、一般演題を幅広く募集しております。内容については、研究成果だけにとらわれず、話題提供あるいは、実験動物に関連した内容であれば何でも結構です。多数のご応募お待ちしております。

「一般演題申込要領」

発表(口頭)をご希望の方は、講演要旨を下記の要領で事務局宛にお送り下さい。

- ・ 要旨は1,500文字(縦38行、横40字)以内。文字の大きさは、タイトル20ポイント、氏名・所属・本文は10.5ポイントをお願いします。
- ・ 演者は氏名の前に○印をつけて下さい。演者は原則として、日本実験動物技術者協会会員に限ります。非会員が発表を希望する場合は、入会の手続きを行って下さい。
- ・ 発表時間8分、質疑応答2分を予定しております。
- ・ 発表方法は原則として、液晶プロジェクターのみとさせていただきます。なお、当方ではWindows xpのノート型PCのみを用意させていただきます。その他のOS、形式および動画入りでの発表をご希望の方は、ご相談下さい。

「一般演題申込締切・送付方法」

演題タイトル・演者名は2月15日、講演要旨は3月14日とさせていただきます。

演題タイトル、演者名ならびに講演要旨は、原則E-mailで受け付けます。要旨については、Word文書に限定させていただきます。なお、E-mail不都合の方は、FAXにてお願い致します。

日本実験動物技術者協会 関西支部事務局

JT医薬総合研究所内 (株)JTクリエイティブサービス 高槻事業所

担当：千葉 薫、榊原 和佳子

TEL. 072-681-9719 FAX. 072-681-9724

E-mail ; kansaimail@jaeat-kansai.org

平成 19 年度日本実験動物技術者協会『関西支部秋季岡山大会』を終えて

大会長 古本 佳代
倉敷芸術科学大学 生命科学部

本年 10 月 20 日、21 日の両日、本大会を倉敷市の加計学園国際学術交流センターで開催させていただきました。100 名を超える方にご参加いただき、無事大会を終えることができました。ご協力いただきました座長、演者、支部幹事の皆様、そしてご参加いただきました皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今回の大会では一般演題が 11 題、教育講演や特別講演、セミナー等が 10 題と多くの方々のご協力のもとに進めることが出来ました。何れも内容の濃い充実したものばかりで、動物実験分野の大きなテーマである“社会的にも科学的にも適正な動物実験とは”の取り組みについて考える内容をお話しいただき、大変充実した時間を過ごすことが出来ました。懇親会についても高い参加率であったと支部幹事の方々から伺い、大変うれしく思っております。

また実験動物技術者養成を学科の目標の 1 つとしてあげております倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科のカリキュラムについて講演させていただく機会も頂き、誠にありがとうございました。今回は具体的なカリキュラム内容や学生アンケートについて発表させて頂きましたが、これをきっかけに本学科が目指しております人材育成について皆様からご意見、ご指導を頂戴できれば望外の喜びです。

最後になりましたが、今回私の様な若輩者が大会長という大役を務めることが出来ましたのは、偏に皆様のご協力のおかげだと思っております。大変貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。本大会にご協力、ご参加いただきました皆様に改めて心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

秋季岡山大会を終えて

関西支部支部長 池淵一也

「ホッとしました！ご支援、ご協力頂いた皆様、本当に有り難うございました。」

私にとって 3 月に行われた支部総会で支部長の大役を仰せつかった後、実質的には重圧の掛かる最初のイベントが秋季岡山大会でした。(7 月には二級レベルの座学学習会を開催しましたが、こちらは岡本教育部長始め教育部と事務局の皆さんに任せきりのようなものだった。)

本号(150 号)支部ニュースの発刊に際し、広報部より表記のテーマで寄稿するようとの指令を受けましたが、冒頭の書き出しが本当に私の率直な気持ちでした。

お世話になった皆様に心よりお礼申し上げます。

関西支部では支部総会を春季に会員数が多い大阪、京都、神戸で開催し、秋季にはこれらの地区以外で研究発表会を開催しています。これは、中国、四国地方などに遠征し支部総会には距離の問題などで参加し辛い方々にも参加していただき、関西支部を身近に感じて貰いたいとの願いがあります(開催地近郊でない方はチョット観光気分も兼ねて参加いただくと交流が広がる)

今回秋季大会を開催しました岡山県では、昨年より倉敷芸術科学大学に 4 年生大学としては国内初となる実験動物技術者を育成する学科が新設され、今年には岡山大学に樫木勝巳先生が新たに着任されました。また、岡山県にはこの 2 大学に加え、小郷副支部長、大月幹事の所属先であり古くから実技協関西支部の運営に絶大なるご協力を頂いております川崎医科大学もあります。記憶に残っている方も多いと思いますが、倉敷では 2002 年に支部 35 周年記念大会として秋季大会(当時は地方大会と呼称)を開催しており、若干開催間

隔が短くなりますが、ここはひとつ、再度岡山県で秋季大会を開催し、関西支部に新しい風を吹き入れたいと考え、関係の先生方に相談させていただき、倉敷芸術科学大学古本佳代先生を大会長として秋季岡山大会開催の運びとなりました。

ご多忙の折りに、唐突なお願いであったにも拘わらず、倉敷芸術科学大学の古川敏紀先生、古本佳代先生始め皆様には会場施設の提供から講演の先生の紹介など絶大なるご支援をいただきました。岡山大学の樫木勝巳先生にはご講演の他にも色々ご配慮いただきました。川崎医科大学のスタッフの皆様には事前の準備から当日の運営、大会後の事務処理まで終始ご協力いただきました。本当に有り難うございました。

プログラムとしては、教育講演として麻酔をテーマにイヌ、ネコなどの外科手術および麻酔に精通しておられる倉敷芸術科学大学の青木忍先生と、小動物への吸入麻酔を数多く手がけておられるハムリー株式会社の関あずさ氏にご講演いただきました。特別講演としてブタの内視鏡手術トレーニングにおける教員と技術職員の役割について岡山大学の樫木勝巳先生に、倉敷芸術科学大学における実験動物技術者の養成カリキュラムについて大会長の古本佳代先生にご講演いただきました。セミナーでは感染性廃棄物をテーマとし、医療廃棄物研究会でもご活躍されております吉備国際大学の加藤雅彦先生および株式会社コシダックの高原成明氏と、株式会社大塚製薬工場の塩本泰久氏、滋賀医科大学の山本好男先生にご講演いただきました。他にも法改正などからも実験動物、動物実験の現場で注目されている IC タグを用いた動物の個体識別法についてスターエンジニアリング株式会社と三協ラボサービス株式会社のご協力を得て情報提供を致しました。一般演題も支部イベントとしては平均以上となる 11 題の応募があり、11 題中 2 題は現役の学生さんからの発表(発表の 2 名含め 9 名の学生に参加頂いた)で、そよ風のような心地良い新しい風を関西支部に吹き入れていただきました。講演は何れも興味深い内容であり、お陰様で初日の開会間もなくから 2 日目の朝一番、閉会時と会期中を通して会場は満員状態でした。唯一、坂本雄二交流担当特別幹事にお願いしておりました中国北方第五回実験動物科技年会への参加報告を時間の都合で中止せざるを得なかったことが残念でしたが、こちらの方は関西支部 HP (<http://www.jaeat-kansai.org/>)に一部をアップしておりますのでご覧いただければと思います。

今大会は、岡山県を始め中国、四国地方からも支部総会などではあまりお目に掛からない方々にも参加いただき、前述した通り秋季大会開催の趣旨からも色々ご実り多い大会であったと考えております。

「あ～ホッとしました！ご支援、ご協力頂いた皆様、本当に有り難うございました。」

最後になりましたが、この度も株式会社大塚製薬工場様からお飲み物をご提供戴きました。厚くご礼申し上げます。

これからも会員の皆様を中心に実験動物、動物実験に関係する方々に有益な情報提供と学習できる場の提供を目指して、スタッフ一同頑張っていきますので、よろしく願いいたします。

来年は鳥根県での開催を予定しております。お楽しみに！

第 62 回実験動物学習会を受講して

佐藤 美帆

高知大学総合研究センター動物資源開発分野（動物実験施設）

高知大学動物実験施設に着任して一年、まだまだ修行中の、新米技術職員であります。実験動物に携わっていくこの仕事に対して、使命感を強く感じるようになりました。日々粛々と、スタッフ一同、これからも取り組んでまいる所存です。私も本年度より、技術者協会に入会させていただきました。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

さてこのたびは、二級受験の運びとなり、しかし本番が近づいてくるなかで、実技試験に対して不安があった私は、一寸の迷いもなく、今回の学習会への受講を希望いたしました。結果から申し上げれば、受講して本当によかったと、心からそう感じております。

まず午前中は、講義形式で始まりました。試験に直結する内容に、数多く触れるものでしたので、大変参考になりました。また、大阪大学で実際の教育に用いられる貴重な資料を拝見しながらの、数々の興味深いお話には、しばし試験のことも忘れ、聴き入りました。

そして続く午後には、班に分かれ、実技指導を受けました。普段なかなか見たり、触れたりする機会のない動物の扱い方、臓器の形状と配置、実験器具・器材、装置などについて、それぞれ詳しい説明をしていただきました。とにかく聞き逃さないよう、ノートをとるのに必死でしたが、メモをした内容は、のちに大変役立ちました。自由時間は、不慣れだった手技の練習に充てましたが、ここでも懇切丁寧にご指導をいただいたおかげで、安心して本番に臨むことができました。最後の修了式では、思いがけず努力賞を頂戴して、試験勉強の追い込みへの大きな励み、原動力となった次第です。講師の先生方、本当に有難うございました。そして最後になりますが、この場をお借りして、本年度をもって定年退職とされます、現所属長である古谷正人先生に、二級取得を強く奨めてくださったことも含めて、感謝申し上げます。無事に朗報をお届けできることを、あとは祈るのみです。

第 62 回実験動物学習会を受講して

斉藤 大地

オリエンタル酵母工業株式会社

今回、実験動物二級技術者資格認定試験を受験するにあたり、受験者を対象とした実験動物学習会がある事を知り、初めて参加させていただきました。講師・スタッフの皆様には、大変お忙しい中、私のような初心者にも分かる学習会を開催戴き誠に有難う御座いました。

特に、実技の学習会は大変有意義な時間でした。参加前は、実技の学習会は参加者が約 30 名もいましたので、実際にはあまり触れられないのではないかと心配していたのですが、受講生が 7 班に分かれ研修項目別に配置された各テーブルをローテーションする方式であったため取り扱い、保定練習など十分に実践練習を行うことができました。普段ほとんど触れる事のないハムスターやスナネズミ等も用意していただき、また、講師の方も多数おられましたので、マンツーマンに近い形で実習をする事ができ大変感謝しております。

通常的环境下では中々経験できない事を実践的に経験でき、色々な状況に遭遇した場合の対応も基礎から教えていただきました。また、講師の方が技術者認定試験を受験したときの経験談なども交えて教えていただいたので、実際の試験では落ち着いて実技を受験する事ができました。

座学についても、ご指導戴きました内容を何度も復習して、学習会で得られた知識をフルに使って受験す

る事が出来ました。

試験結果によっては、来年も学習会に参加させて頂くかも知れませんが、その節もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第 62 回実験動物学習会を終えて

幹事 清水 何一

11月17日(土)に当会学習会を無事に終えることができ、安堵しております。本年度は、28名の受講生が参加されました。私は今回の学習会で初めて講師を務めさせて頂きました。日頃は、営業職として日々を送っている生活で、この度講師という大役を仰せつかりました。当日までは、人に教える事ができるのか不安な毎日を過ごしている中で、新鮮な緊張感を味わう事が出来ました。

学習会では受講生の方全員が真剣に取り組まれ、その意欲と熱意ある質疑応答や、実技に取り組まれる姿勢に圧倒させられたことが強く印象に残っております。

私は、器材に関するコーナーの講師を担当させて頂きました。7班に分かれて実技の学習会をしたのですが、割り振られた時間を度々超過してしまい展示した器材を充分にご説明できず受講生の方々にご迷惑をおかけ致しました。

また、経口投与や腹腔内注射を体験するコーナーにおいても受講生の方々が熱意を持って真剣に取り組まれている姿が忘れられません。

来る本試験では、講習会で学んだ技術・知識を最大限に活かして、是非全員の方が合格される事を願ってやみません。頑張ってください。

HPだより

坂本支部交流特別幹事による「第5回中国北方八省実験動物科技年会参加報告」を掲載致しました。写真もあり詳細な内容となっておりますのでぜひご覧下さい。

幹事会だより

開催日時：平成19年10月21日(日) 13:30~14:00

開催場所：加計学園国際学术交流センター

出席幹事：池淵、岡本、小郷、武智、千葉、田島、榊原、原、菅野、澤浦、内山、寺門、清水、有木、尾崎、中西、大月

議 題：関西支部秋季岡山大会の反省・次回大会への申し合わせ事項等
第62回実験動物学習会について
その他

事務局だより

ここの処、めっきり寒くなりました。11月の実技講習会(実験動物学習会・実技)も大過なく終えることができホッとしております。本講習会を受講された皆様、お疲れ様でした。本番では力を発揮できましたか？皆様が実験動物2級技術者試験に合格しますことをお祈りします。年明けからは高度技術実技講習会、微生物検査実技講習会及び総会・研究発表会とイベントがいっぱいです。各々の企画には趣向を凝らし、皆様のご参加をお待ちしております。

日本実験動物技術者協会・関西支部ニュース

December. 2007. No.150

発行者：支部長 池淵 一也

編集者：広報部 大月真理子、小郷 哲

発送者：総務部 原 義典

事務局：〒569-1125 高槻市紫町1-1

(株)JT クリエイティブサービス高槻事業所内

担当：千葉 薫、榊原 和佳子

TEL. 072-681-9719 FAX. 072-681-9724

支部携帯：090-1570-2725 (支部長所持)

事務局E-mail ; kansaimail@jaeat-kansai.org

支部HP URL ; <http://www.jaeat-kansai.org/>